

令和 8 年度



学校評価だより

～中間自己評価～

珠洲市立緑丘中学校

令和 8 年度中間期の学校評価として、生徒・保護者・教職員アンケートをもとに自己評価を行いました。
1 学期にとりましたアンケート結果や自己評価の結果（裏面）を含めて、今後の取組についてお知らせいたします。今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもございます。
何卒、本校の教育活動をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

校 訓

正義・勉学・友情

本校の教育目標

ふるさと珠洲に誇りをもち、仲間や地域とつながり・支え合い、ともに未来を拓く人間の育成

目指す生徒像

◇自ら学び、自ら課題を解決しようとする生徒(知育)

◇ルールやモラルを大切に誰とでも助け合える生徒（徳育）

◇心と体の健康を大切に自らを成長させようとする生徒（体育）

本年度重点項目

①主体的に学ぶ生徒の育成，身に付けた学力を発揮する生徒の育成

②自己管理能力，自分で自分をコントロールするための凡事徹底

③行事や集会等を活用した生徒会活動の充実

④家庭・地域・関係機関等の連携による生徒の健全育成の推進

①【主体的に学ぶ生徒の育成，身に付けた学力を発揮する生徒の育成】

『学ぶ喜びや達成感が持てる「わかる授業」』，『生徒と共につくる課題づくり』，『能動的な学習の実践』，『計画的な校内研修』，『家庭学習の習慣化』，『一人一台端末の活用』を重点に取り組んでいます。

○すべての質問項目において、肯定的評価の割合が昨年度に続いて高い結果となりました。さらに、昨年度より割合が上がった項目も増えています。引き続き、「わかる授業」のために共通実践を進めていきます。

○例年低い数値となっている家庭学習に関する項目では、数値の上昇が見られました。宿題の提出率も安定しており、どの学年においても意識の向上がうかがえます。

△宿題以外の学習への取り組みについては、低い値となっています。学年別では、1 年生が 6 1 %，2 年生が 3 6 %，3 年生が 4 8 %という結果でした。

《改善策》

◇学習に関するアンケートを実施・集計し、いろいろな学習の仕方を紹介するなど生徒会の委員会活動とも連携しながら進めていきます。また、2 学期以降に予定している各種コンテストも活用して、学習の必要感を持たせつつ、家庭学習の質と量の向上を図る予定としています。

③【行事や集会等を活用した生徒会活動の充実】

『話し合い活動の充実（討議と決定）』，『振り返り活動の充実（自己評価）』の計画的な設定による自主性や自治能力の育成を重点に取り組んでいます。

○全体的には肯定的な意見が多く、昨年度の最終結果に比べて割合が上昇しています。特に勤務時間に関わる項目の数値は昨年度に比べて大きく上昇しています。

○前へ出て発表する生徒と聴く生徒の双方向でやり取りする形式を増やしたことや教員間で振り返りへの意識を高めたことで、生徒会活動や集会への参画意識や主体性が育ってきていると考えています。

△肯定的回答（A+B）の中でも A 評価の割合は、決して高い値となっていない状況が見られます（33～68%）。

《改善策》

◇今後控えている行事の中でも継続して取組を進めていくことで、生徒たちの達成感や自己有用感を高め、「行事や集会をより良い方向に改善しようとする意識」や「生徒会活動に積極的に関わろうとする意識」につなげていきます。

②【自己管理能力，自分で自分をコントロールするための凡事徹底】

『時間を守る』，『掃除』，『あいさつ』の徹底を重点に取り組んでいます。

○授業でのあいさつやルールについては、肯定的な回答が高くなっています。挨拶や学習規律において、教職員間で共通理解して取り組んできたことが結果につながっていると思うので後期も継続して指導します。

△一方で、黙働清掃に関する項目では、昨年度より割合が下がっています。また、家庭であいさつしていると答える保護者の割合はやや低くなっています。

△「決めた時間に学習を始められている」と回答した生徒が 10%増加しているものの、依然として実践できていない生徒も多い状況がうかがえます。

《改善策》

◇引き続き、起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻を意識した「3 点固定」の取組を継続していきます。

◇今後は学校での挨拶だけでなく、地域や家庭においても今以上にあいさつができるように「あいさつの意義や必要性」について継続的な指導を行っていきます。

④【家庭・地域・関係機関との連携による生徒の健全育成の推進】

『校区小学校との連携強化と小中連絡協議会の充実』，『地域づくりを題材とした「SuZuSoZo」の充実』を重点に取り組んでいます。

○地域・保護者への対応に関する項目では、肯定的な回答が上昇しています。昨年度より体育祭や文化祭，総合的な学習の時間など地域の方や保護者と関わる機会を増やし、学校運営協議会で協力をお願いするなど地域や保護者との関係を深めてきた成果と思われます。

○アンケートから保護者は学校への関心が高く、学校が発信している情報に目を通していただいていることがうかがえます。一方で教師側の情報発信の回数はさらに増やしていく必要があります。

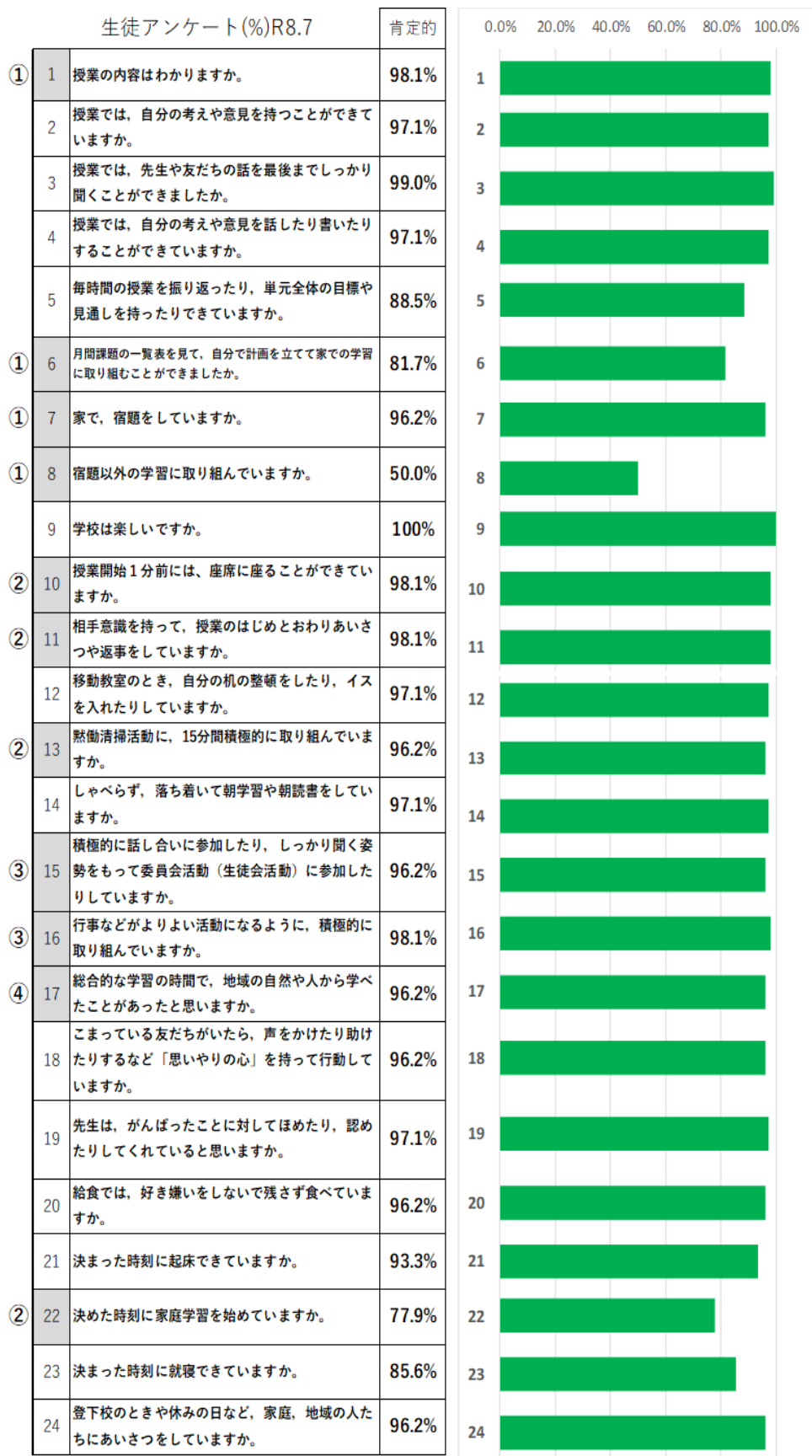
△総合的な学習の時間において、高校との協働に向けた実践に関する項目では、肯定的な割合が他の項目より低くなっています。

《改善策》

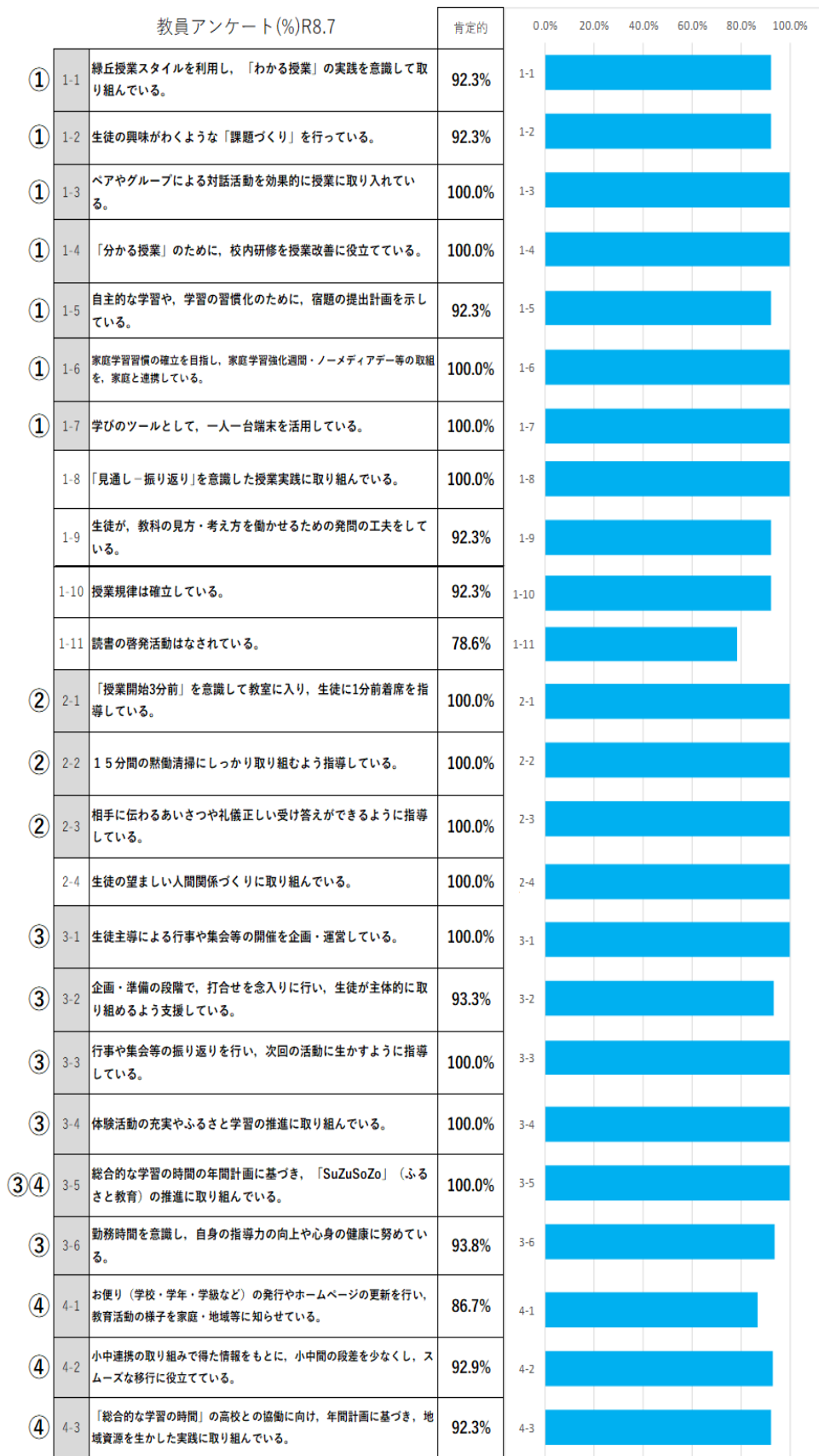
◇2 学期以降、学級通信や学年通信の発行回数を増やし、積極的に生徒の様子を発信していきます。

◇高校との協働について総合的な学習の時間の年間計画を見直し、計画の中に位置づけます。また、総合的な学習の時間に限らず、進路学習など様々な機会を捉えて協働する機会を設定していきます。

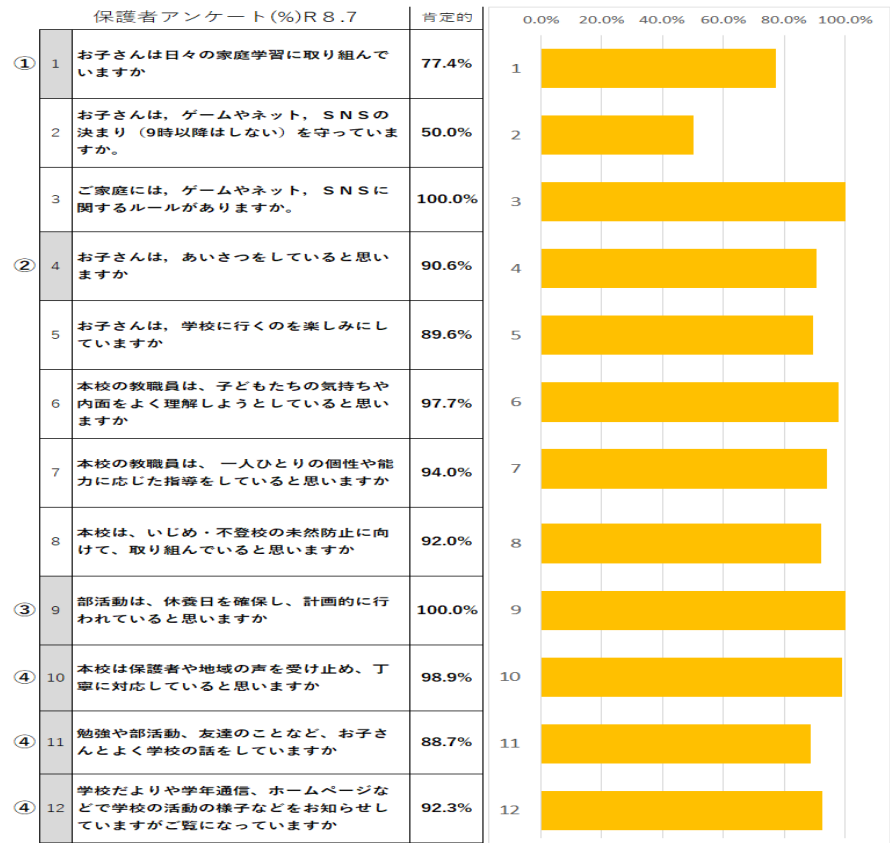
生徒アンケート結果



教職員アンケート結果



保護者アンケート結果



学校関係者評価委員からいただいた感想や助言

- 小学校でもそうだが、なぜ宿題があるのか、なぜ家庭学習をするのかを子どもと共有する必要があると感じる。小学校高学年、中学生くらいなら、キャリア教育と結びつけて話しても理解できると思う。
- 子どもたちの穏やかな人間関係がアンケート結果の数値の向上に結び付いていると思う。集中して学習に取り組む姿勢を身に付けさせてほしい。
- 宿題以外の学習に取り組む生徒の割合が低いというのがそれが普通だと考える。取り組んでいる5割の生徒は何をやっているのか知りたい。
- 基礎が不十分な子供に対して、支援することで基礎力を向上させ、それが勉強するおもしろさにつながるのではないかな。
- 「あいさつをできている」と中学生が自信を持って回答できるのはすばらしいと思った。小学校では、やや課題が見られる項目なのでぜひ地域での良きお手本になってほしいと思う。
- 「みどりタイム」「良きよきの木」など互いの存在を認め合う地道な活動が穏やかな人間関係を育む礎になっていると思う。
- 勤務時間を増やさず、効果的な活動になるよう工夫されていることが伝わった。どの項目も良い結果でその成果が現れているのだと感じた。
- 地震を経験してから、特に中高生が自分で考え、自分で動く力がとても大切だと感じている。生徒の意識が良い方向に育ってきているとのことですので、さらに良くなっていけばいいと思う。
- 大きな行事は生徒たちにとって成長のきっかけになるので家庭を大切にした丁寧な取組を今後も続けてほしい。豊かな人間関係にも結び付いていくはずである。
- それぞれ特色のある各地区の良さをいかして、学習を進められていると思う。小中連携で授業を参観した際も、グループでは男女関係なく誰とでも話せる雰囲気がとても素敵だと思った。

- ・項目番号下の○で囲んだ数字は、本年度の重点項目の番号。項目の網掛けは、重点項目の指標として活用したアンケート項目になっています。
- ・各項目で示している割合は肯定的評価（A＋B）の合計で示しています。（例）A：できた B：おおむねできた C：あまりできなかった D：できなかった